

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2014年9月



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2014年9月1日発行 通巻257(毎月1回発行)

他の会の事故に学び

同種事故は絶対に起こさない

9月号 目次

・目次	2
・花博士の花便り	中原 紀代治 3
・リレーエッセイ (ハイキング委員会)	太田 淑子 4
・リレーエッセイ (自然保護委員会)	椎名 絹江 5
・ゆう便り	吉田 理事長 6
・NPO バスツアー案内	8
・全国連盟・メールニュース9号より	9
・山筋ゴーゴー体操・DVD紹介	10
・ふれあいハイク案内	11
・2015年労山カレンダー申し込み案内	12
・9月号県連便り	13
・9月・10月県連予定表	14

表紙説明

「ちば労山ゆう」は、牡鹿半島・谷川浜をベースに支援活動を行っています。しかし、毎年8月は福島県の被災地で支援活動を行います。

今回は13名が参加し、南相馬市で支援活動を行いました。会員手作りの緑のビブスで勢揃いしました。

—— 編集者 ——

夏の花

今年夏は、猛暑で雨が降らずに、花の時期が少しズレました。キョウチクトウやサルスベリ（百日紅）、ムクゲ、クサギは、長持する花でまだ咲いています。台風11号が雨を降らせて、待っていた様に花が咲きました。ナツズイセン（夏水仙、ヒガンバナ科）で高さ50cmくらいの茎にピンクの花が、土手に突然現れ咲いています、同属のキツネカミソリも、8月20日に茂原公園で満開でした、ガガイモは蔓性で集散花序の（小さな花が集まって）花色は淡紫と白色で、蕾が丸くイモの様に咲いた花は毛が多くヒトデの様に見えます、ヘクソカズラも一緒に咲いていました。タカサゴユリは、台湾の原産でテッポウユリに似ていますが、種が風で飛散し2、3年で花が咲き毎年増えています、花持ちが悪いので切り花で採る人がいません。

今月の巨木 演習林郷台のセンペルセコイア（スギ科セコイア属）

世界で一番高く大きい木はアメリカ、カリフォルニア州のレッドウッド国立公園にあるセコイア（セコイヤオスギ）高さ115mあまり目通りは15m、樹齢は700年前後とされています、郷台のセンペルセコイアも同じ科属の常緑樹で、樹高は30数mで目通り4、4mあり樹齢は、演習林の開設から100年程度と思う。良く似たメタセコイアは中国原産の落葉樹で化石が日本で発見後に、中国で樹木が見つかり、生きた化石とされています。



ナツズイセン

ガガイモ



センペルセコイヤ

タカサゴユリ



ハイキング委員会リレーエッセイ

尾瀬ヶ原と鹿

ふわく HC 大田 淑子

6月2日(月)水芭蕉を見たことがないという知人がいて急きょ「尾瀬」に行くことになった。

金町駅6時集合、車で鳩待峠に向かった。関東は何日も20℃後半の暑さが続きまだ暑さに慣れない体を困らせていた。尾瀬は涼しいと予想していたが鳩待峠付近でも27℃だった。天気は雲ひとつない快晴。

鳩待峠9時30分出発。歩き始めて30分ぐらいの斜面にシラネアオイが優雅に何株かさいていた。すぐ採れそうなところがあり、多分そのうちなくなるのではないかとおもった。それは鹿の食害より人害のほうかな？と。

至仏山の姿にはまだまだ雪が残っていたが、山の鼻への道は脇に2～3か所雪の塊があるだけだった。山の鼻直前の川上川を渡る手前に見頃の水芭蕉がたくさん咲いていた。(時期が過ぎると大きくなってあまり綺麗とはいえないが、ちょうど良い清楚な姿だった。)

熊は水芭蕉の根を食べるが鹿は食べないから残っているらしい。山の鼻からいよいよ木道歩き。木道の脇の泥の面があちこちこねくり回され鹿のぬたばとなっていたところが何か所もあった。

尾瀬ヶ原は雪解けが終わったばかりで草もみじが寝ている状態で草の芽はほとんど出ていないので被害も目に見えてはつきりするところはなかった。でもよく見ると、木道の付近の草が茎しか残っていなかったのもあった。また鹿の害を調べるために3m(?)四方の網で囲ったところがあり、その中にはリュウキンカが沢山咲いているが、網の周りにはあまりなかった。鹿が食べたのだろうか？と推測した？



中田代からは水芭蕉の群落のある川の奥に至仏山見え、「カレンダーにある風景ですね」と始めて訪れた友人の言葉。中田代を抜け竜宮を左に折れヨッピー橋へ。ヨッピー橋を渡ったところにリュウキンカが以前は沢山咲いていたが、時期が速かったのか、鹿が食べたのか？いつもより少なかった。

しばらく雨が降らず乾いていたような尾瀬ヶ原を「暑い暑い！」と言いながら、せっせせっせと木道を歩き、鳩待峠までの唯一登りを歩き15時30分到着。

天気に恵まれ至仏山の優雅な姿と池塘に映る燧ヶ岳も見ることができた。以前行ったときには見たことがなかった状況に鹿が尾瀬ヶ原に増えていることを感じた山行だった。

針木岳 ～ 烏帽子岳縦走

椎名 絹江
(自然保護委員 ふわく山の会)

- 1、日時 2014年 7月29日～8月1日
- 2、場所 針木岳-蓮華岳-北葛岳-七倉岳—船窪岳-不動岳-烏帽子岳
- 3、メンバー 中村、村奈、椎名

1日目 長野からバスで扇沢入り、そこから出発して大沢小屋に到着。中村さんが借りたアイゼンが4本爪だったので歩きずらかったと言っていた。雪渓の急斜面を一步を踏みしめながら思う。『昨日までは30℃以上の気温の高い状態で・・・』、今は嘘のような目の前の雪渓に汗を流して登っていく。5時間のコースタイムより早めに針ノ木小屋に着いた。その間登山道にはイワカガミ等の植物が迎えてくれた。

2日目 小屋に荷物を置き、針木岳にピストンで登った。針木岳からの景色は雄大で、右には立山連峰と剣、西には黒部湖、そして左には穂高連峰と槍、その雲海上には富士山が姿を見せた。感極めた！
そこを後に、今日は蓮華岳の緩やかな登りから、うすピンクのコマクサが山を色づかせている。その中に白いコマクサは珍しい！ 北葛岳からは長い登りと下りが交互におとづれ、山越えが続きやっとの思いで不動岳の入口からザレ場と長い鎖場の険しい登山に3人で励まし合い声を掛けながら「気合いだ！ 気合いだ・・・」。北葛岳をやっと越え、痩せ尾根の七倉岳を越え今日の目的の舟窪小屋へ。コースタイム7時間30分。人気の小屋です。迎えの鐘がキンコーンと響き気分を楽ませてもらった。

小屋の主は老夫婦の穏やかな眼差しが人柄を偲ばせる。そして、まずはビールで乾杯で疲れを癒やし、二段ベットの所へ体を運び荷物を置きほっとした。ねぎらいの気持ちを言葉にしようとした時、二人から「声がうるさい！」と言葉が刺さった。向かい側のベットに先着の男性が一人寝ていたからだ。これが一緒に汗をかき、同じ思いで登ってきた友の言葉を疑った。二人に対して信頼が消え、考え思い悩んで・・・一睡も出来ず夜が明けた。

3日目 一番今回険しい難所をいかねば！ 舟窪小屋を後に、まず舟窪岳第1ピーク、そして第2ピークで、険しさと足場の悪く這いつくばる様に登り、とりあえずついて行く。とにかくきつい登り。そしていつもザレていて内側はもうザレた山肌。そうこうしたうちに不動岳の登り・下りが続き連続の危険なザレ場と長い鎖場、無我夢中でまたもやついて行く。全身全霊とはこういう事なの？ とうとう烏帽子岳の岩塊直下に着いた。そこを登る体力は無く、中村さんだけ登り私と村奈さんは行っただけになった。そして烏帽子小屋にコースタイム9時間で到着

4日目 小屋から高瀬ダムに下山。そして疲れた身体を葛温泉でリフレッシュ。松本から一人帰宅。

追伸 今までにない苦しい登山になりました。高山植物は所々で、花の色とりどりが気分を明るく楽しませてくれました。

(例コマクサ(ピンク・白)、岩カガミ、岩キキョウ、チングルマ、高嶺バラ、コケモモ、白山シャクナゲ、ゴゼンタチバナ、黒トウヒレン、日光キスゲ、エーデルワイス、ハハコグサ、キヌガサソウ、その他)

登山知識の乏しい私を引っ張って怪我無く一緒に下山できたことに二人にありがとう。これからは広い心と登山を楽しみたいと思います。

(写真は撮りませんでした。)

2014. 08. 17

「ちば労山ゆう」活動報告

ゆう便り No.7

吉田 哲治

- 1、日時 2014.8.23(土)～24(日)晴
- 2、参加 13名 24日は9名
- 3、活動場所 福島県南相馬市原町区
- 4、宿泊場所 川俣町「峠の森自然公園」
- 5、活動内容 個人宅の草刈、庭木の剪定



のぼりには、「できる人が、できる時に、できる事をする」

我々ゆうは牡鹿半島の谷川浜にベースを置いて活動していますが、福島への想いも持ち続けていきたいと、8月は毎年福島の南相馬市に入っています。

ここでの支援は「南相馬市ボランティア活動センター」の斡旋によるもので、避難指示解除準備区域にある小高区と原町区の一部が主な活動対象区域です。避難指示解除準備区域とは、引き続き避難指示は出されますが帰還に向けてのインフラ等の環境整備がされるところで、昼間は自由に立ち入ることはできますが、住民の方でも宿泊はできません。帰還の意思のある方は仮設等から通い、家財道具の整理など定期的に行っている様子です。私たちが今回お手伝いさせていただいたお宅も、ボランティアの作業が入ると知らずに家に立ち寄ったところ私たちが作業をしているので、とても喜んでおられました。草ぼうぼう、庭木も荒れたままの自宅は見るのも嫌だけど、こうしてきれいにしてもらおうと、とても嬉しいと言ってくれました。

私が初めて小高地区に入ったのが2012年8月ですが、それから丸2年たっても変わらない状況に、帰還の具体的な見通しのたたないところに、すぐ伸びてくる草刈なんかして意味があるのかと思うこともありましたが、老夫婦の笑顔を見て、支援を続ける意味を再確認しました。

猛暑の下で草刈り作業

東京民医連 野口 義夫

私の4回目のボランティアは、福島・南相馬の農家の草刈り支援となりました。猛暑の下での草刈りは、手応えのある労働でしたが、達成感も格別の体験となりました。

8月22日(金)夜、東船橋駅でリーダーの吉田さんカーに同乗。花火のような遠雷を見ながら、一路福島へ。12:00近く、道の駅ふくしま東和に到着。他のメンバーとも合流し、少しの時間交流後、雷を聞き星を見てデッキで

仮眠。

23日(土)片づけや支度をすませて南相馬市へ。通過する川俣町、飯舘村に人影がなく、「除染作業中」ののぼりや黒い袋(トン袋)の除染土仮置き場が目につき、田と畑の区別も判らないほどに草が伸び広がっています。8:00



過ぎに南相馬市ボランティア活動センターに到着。宮城・朋友会の石松さんと合流、総勢13人です。この日は全体で約100人が出動したようです。

8:30 小高区社会福祉協議会会館前のテントでミーティング。今日の作業の場所・内容、リーダーの武本さんが紹介され、資材を車に乗せて出発。作業場は、南相馬市原町区の東の高台の個人宅

です。生垣の枝や草が伸び放題になっている自宅と隣接する畑・おおよそ1アールほどを相手に作業開始。男性6人がエンジン式刈り払い機をかついで畑に挑戦、7人が家周辺の草刈りと生垣の剪定にかかりました。カンカン照りで蒸し暑い中の作業で40分ほど毎に休憩・水分補給を。昼食をはさんで16:00までつづけました。

草は、小さなコニシキソウから背の高いセイダカアワダチソウまで数十種もあり、オヒシバのようにがっちり根を張った手強いや、大きなヨウシュヤマゴボウ、長いツルのヘクソカズラやヤブガラシなど手のかかる相手です。それでも終了時には見違えるほどにきれいになりました。15:00ごろ仮設から戻られたご自宅のご夫妻はびっくりしたり、安心されたようでした。翌24日午前も残りの草刈り・剪定・後片づけをつづけました。

この作業中、2人がハチ刺され、虫刺されに遭いました。虫刺されの山本さんは市立病院に受診され、24日早めに帰られました。

宿泊は、周辺の民宿などの施設は満員で、20kmほど離れた川俣町の施設・峠の森自然公園の展望台地にテントを張りました。食事は各自持参と食事担当の手料理・ゴーヤチャンプルーと、ほどよい飲み物で楽しくにぎやかに交流しました。「人間ミュージックボックス」・かがりびの川口さん始め大勢のタレントさんが盛り上げました。(これがあるから支援に参加する?)



皆さん、ありがとうございました。10、11月も参加します。

東北支援 バスツアー

～震災を忘れず、復興への歩みを感じ、秋の東北ならではの幸を満喫する旅～

昨年に引き続き、今年度も東北支援バスツアーを企画しました。東日本大震災より4年目になりますが、東北の現状はどうでしょうか。実際に足を運んでいただき、ご自身の目で確かめてください。そして、観光で東北を応援してください。



割烹民宿めぐろ

小高い場所にあったため辛うじて津波の被害は避けられましたが、大地震により陥没するなど建物の三分の一ぐらいが損壊しました。震災時は被災者を受け入れ、小湊浜地区の拠点となったところです。今年の春にリニューアルオープンしたばかりで、割烹と頭に付けるくらいに海の幸にこだわる宿です。15日夜はご主人より震災当時のお話をお伺いする予定です。

日程：2014年11月15日（土）～16日（日）

参加費：20,000円（往復のバス代、宿泊費）

募集定員：30名

*旅程は交通の事情等により変更する場合があります。

11/15	JR 松戸駅西口市民劇場前6：30～石巻・門脇地区（震災遺構 門脇小学校・本間家土蔵視察）～牡鹿・谷川浜（ゆうの支援活動視察&作業体験もあり）～小湊浜 割烹民宿めぐろ（泊）
11/16	被災地視察（女川町～雄勝～大川小学校～南三陸町さんさん商店街）～帰葉（20時頃予定）

主催：NPO 法人ちば労山ゆう

後援：千葉県勤労者山岳連盟

申込先：佐藤（tel/fax 043-306-5238

e-mail k-sato111@asahinet.jp）

角掛（tel/fax 043-233-1845

e-mail tsunojun@my.email.ne.jp）

全国連盟・メールニュース第9号より抜粋

豪雨による増水で労山会員2名が死亡

今年の夏、関東地方以外では天候が不順で、各地で災害が発生しました。特に、8月20日に発生した広島市の土砂災害は痛ましい人命の損失と甚大な被害をもたらしました。

登山の分野でも8月16(土)～17日(日)には各地で遭難が発生し、残念ながら、労山会員2名が死亡しました。労山会員が関係した事故についてお知らせします。無事救出された件もふくめ、各会・クラブで事故例検討会等の実施をお願いします。

① 16日、槍ヶ岳下山中に滝谷出合い付近で、増水した川に流され死亡。うち2名が労山会員。

死亡した3人のうち、2人は広島県連の男性(62歳、67歳)でした。2人は16日午前11時50分頃、槍平から滝谷の間の沢を渡渉のため、兩岸でロープを張り、他パーティーの登山者を渡す手助けをされていて、ともに流されてしまったものです。「2人とも他の登山者が困っていれば放っておかず、率先して担いでいくような親切な人だった」(所属会会長の話—毎日新聞)。ご冥福をお祈りします。

② 北アルプス・赤木沢で2人(男性67、女性65)が行動不能となり、ヘリでピックアップされた。

京都府連盟所属会の3人パーティーで14日、入山。15日赤木沢の大滝付近で、増水のため2名が左岸に、1名が右岸に分かれてしまいました。1名は稜線まで登り、太郎平小屋に到着しましたが、他の2名が来ないため、府連盟と警察に救助要請。天候回復を待って、17日にヘリが飛び、ツェルトを張って避難していた2人を無事救出。

③ 宮城県「仙台カゴ」で、2人が行動不能となり、ヘリでピックアップされる。

14日、宮城県連所属の2名(男性56、女性62)が宮城県の岩山「仙台カゴ」(1270m)に沢登りで入山。翌15日朝、下山しようとしたが、女性の両目まぶたが虫に刺されて腫れあがり、林道にテントを張って救助を待ちました。18日にヘリコプターで救出された。

④ 北アルプス黒部五郎岳・双六谷で沢登り中、増水でへりにて救助される。

黒部五郎岳(2840メートル)では、沢登りに入山した東京都連盟所属会の男性2人(57、50)が下山予定の16日を過ぎても戻らず、警察に救助依頼。18日午後、ヘリが同岳南側の金木戸川付近で2人を発見、救助されました。けがはなく、川の増水で動けなくなったとのこと。
※この他に、東京都連盟の別の会でも黒部峡谷に入山した7人パーティーの下山遅れがありました。このため、当該会から警察に救助要請が出され、ヘリでの捜索により一行の無事が確認されましたが、当人たちは自力で下山しました。

全国的な天候不順の中、沢登りによる事故が報告されました。いずれも大雨による沢の増水によるものです。事故日の、8月14日・15日は大雨の予報が出ていました。県連所属の会でも、北アルプスの登山・沢登りを中止又は計画変更をした会もいくつかありました。実際、ニュースを見て、何故?どうして?と思った人も多かったと思います。判断ミスで片づけることなく、事故例検討を行い実施出来る対策について話し合ってください。

「他の会の事故に学び、同種事故を起こさない」決意をお願いします。

いつまでも山に登れる **山筋ゴゴゴ体操**

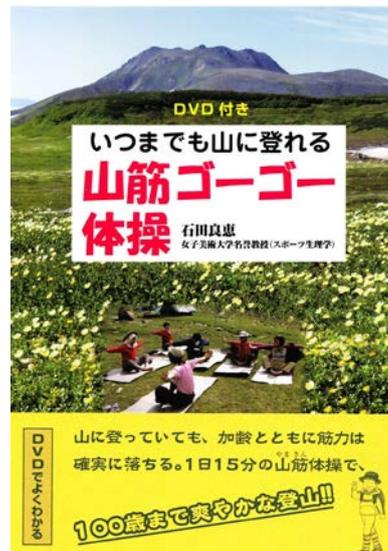
DVD付きテキスト

著者
石田 良恵 (保健医学士)
女子美術大学名誉教授
東京都連名会員

遭難事故は、年々増加の一途をたどっています。登山人口の増加や高齢化が進む中で、特に60歳以上の女性の事故が多く起きています。その70%以上が無雪期の事故です。

その内容を見ると「小石に足を取られ、足をひねって捻挫」「登山道の柵板に引っ掛かり転倒、両手をついて手首を骨折」などちょっとしたことから転倒して重傷を負う。

ではなぜ、50代以降の事故が多いのでしょうか？その原因については、自然の摂理として誰にでも訪れる、加齢や老化による体の変化を逃すわけには行きません。



一部 1500円です。

自覚しよう！！ 加齢とともに筋力は確実に落ちる



では！ どうする？

現状を素直に認めることから始めよう

一日15分の努力！山筋体操を続ける努力

やらずにウダウダ言わない・だまされたと思ってやって見る

100歳まで爽やかな登山！！
いつまでも山に登れる体力を維持しよう

5カ年間の「中高年女性登山者愛好者」の体力測定から、下肢の筋力強化のための「山筋ゴゴゴ体操」が生まれました。この冊子の普及と同時に講習会を全国各地で行いました。より効果的に筋力トレーニングを行うためには正しいトレーニング法を学ぶためには、「DVD」による学習の必要性を強く感じDVDを作成しました。

登山時報に連載した「山に登る力」の身につけ方を加筆・整理して一冊にまとめました。

『はじめに より引用』

◆問い合わせ・申し込みは：広木まで (danphiro@zpost.plala.or.jp) (090-8316-2020)

第15回 ふれあいハイイク参加者募集

千葉県連盟が2年に1回、障害者と共にハイキングを楽しむ「ふれあいハイキング」が下記の通り行われます。

今回は、地元の房総半島「館山野鳥の森」での開催となります。各会から多くの参加をお願いします。

秋の一日を、障害者ととともにハイキングを楽しみませんか。

今回は、車イスでの参加者7人、視覚障害者が30人、前後の参加が予定されています。

会員の皆様には、楽しく安全に楽しむための、それぞれのサポートをお願いします。

千葉県連盟としては、100名以上の参加をお願いします。各会でまとめて、申し込みをお願いします。

記

1 実施日 2014年度 10月26日(日)

2、集合場所 JR千葉駅NTT前

3、集合時間 午前8:00分 集合(時間厳守)

4、参加費 4,500円

5、行動予定表

【出発】 8時30分出発

NTT前8:30発——蘇我IC——市原PA(休憩20分)——館山自動車道——
富浦IC——国道410号線——館山野鳥の森駐車場(10:20着 10:50発)…
0:05…野鳥の森広場…0:30…富士見展望台…0:10…国見展望台…0:10…
平砂浦展望台…0:10…ピクニック広場(昼食・レクリエーション)12:00着
14:00発…0:15…西沢の池経由水辺の森…0:10…ピクニック広場…0:15…
国見展望台…0:10…富士見展望台…0:20…野鳥の森広場…0:05…館山野鳥の森
駐車場15:15着15:45発——富浦IC——市原SA(休憩20分)——松ヶ丘IC
——NTT前18:00着(解散)

※ 雨天の場合 (雨天でも実施します。)

野党の森、近くの安房特別支援校の体育館を借りる予定にて昼食・レクリエーションを実施

ふれあいハイイクは、千葉県連盟の伝統的なボランティア行事です。山の会として、社会貢献として取り組んで来ました。15回目の節目として、千葉県連盟より「100名以上」の参加をお願いします。

地元、館山野鳥の森で、楽しい交流に会を挙げて参加して下さい。

2015年 労山カレンダーについてのお知らせ

今年も、労山カレンダーのお知らせをする時期になってしまいました。
毎年、申し込みが遅くなっています。早めの申し込みをお願いします。

2015年版労山カレンダー申込書

地方連盟	千葉県連盟	
申し込み部数	発注部数 _____ 部	
名入れ	○希望する ○希望しない	
希望する名入れ等		
送付先	〒	電話番号
	住所	
	氏名	

- ◆ 問い合わせ先:千葉県連盟 ホームページ 事務局への問い合わせまで
支払先 : 千葉県連盟 会長 広木 国昭
(danphiro@zpost.plala.or.jp)

- ☆ 申し込みは、全国連盟事務局に直接申し込みをお願いします。
- ☆ 申し込み先 Eメール: jwaf@jwaf.jp
F A X : 03-3235-4324
- ☆ 早急に、会・クラブでまとめて申し込み下さい。
- ☆ 料金は、県連盟でまとめます。

県連たより

県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
(県連事務所に常駐者はいません)
- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまで
- ◎ 事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
機関紙委員会・広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、ご意見
問い合わせなどは・広木まで

NPO法人「ちば労山ゆう」

- ◎ 「ちば労ゆう」への入会は
千葉県連盟ホームページから
入会出来ます。
 - ・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
 - ・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>
 - ・入会情報（8月末）

正会員数	96名
賛助会員数	111名
合計	207名

常時、会員を募集しています。
入会連絡は、上記アドレスまで！
新年度のNPO「ゆう」支援活動の
お知らせ
 - ・ 9月13日(土)～15日(月)
 - ・ 10月18日(土)・19日(日)
- 支援物資は常時販売中です。
下記アドレスに連絡を！**
- 三陸・気仙沼直送の支援物資は
支援物資担当・広木までどうぞ
- 「おさしみわかめ」
 - 「さしみこんぶ」
 - 「くきわかめ」
 - 「すき昆布」
 - 「とろろこんぶ」
- 常時在庫あり、宅配相談下さい
danphiro@zpost.plala.or.jp
090-8316-2020

県連活動予定表

9月	行事予定	10月	行事予定
1月	女性委員会	1水	
2火	県連役員会	2木	
3水		3金	
4木		4土	
5金		5日	
6土	関プロ役員交流会	6月	女性委員会
7日	〃	7火	県連役員会
8月		8水	
9火	ハイキング委員会	9木	自然保護委員会
10水		10金	
11木	県連50周年実行委員会	11土	
12金		12日	
13土	NPO支援活動	13月	
14日	〃	14火	
15月	〃	15水	
16火		16木	県連理事会
17水		17金	
18木	県連理事会	18土	NPO支援活動
19金		19日	〃
20土		20月	
21日		21火	
22月		22水	
23火		23木	
24水		24金	
25木		25土	
26金		26日	
27土		27月	NPO役員会
28日		28木	
29月	NPO役員会	29水	
30火		30木	組織委員会
		31金	

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所に常駐者はいません)

発行責任者：吉田 哲治 編集責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ